

『複言語・多言語教育研究』
第9号

目次

理事長挨拶	刊行の辞	山崎 吉朗	1
特別寄稿	新学習指導要領と多様な外国語の教育への期待	小野 賢志	7
論考	食育と外国語教育をつなぐ給食プロジェクト	大山 万容 ピアース ダニエル ロイ 北野 ゆき 藤田 恵美子	17
	なぜわれわれは中・韓・独三言語連携プロジェクトを続けるのか —複言語主義の中で「連携」の意義を考える—	西 香織 阪堂 千津子 池谷 尚美	33
	高校での複言語学習の経験と学習者による自己省察 —高校生・大学生・社会人へのアンケート調査に基づく分析と考察—	松木 瑤子	49
	日本の就学前幼児を対象とする「言語への目覚め活動」教材作成と試用の結果	山本 冴里 富本 浩一郎	65
	日本の高等学校における複言語教育実践の試み —5言語必修の多言語授業と言語意識活動—	吉村 雅仁 中尾 雪路 水本 祐之	82
報告	Flipgrid を活用した日露オンライン相互学習の試み	北岡 千夏 東 康太	99
	大学において手話言語を体験学習する意義 —「多言語コミュニケーション実践」の一環として—	木村 護郎(ゲスト)	109
	異なるコミュニティへの越境から生まれた学び —韓国絵本プロジェクトの実践から—	中川 正臣 澤邊 裕子	120

	コロナ禍における日仏オンライン交流の試み —Google フォームと Zoom を用いて—	西部 由里子	130
特集	第 9 回シンポジウム特別企画「コロナに負けない 高校生の若き取り組み」の実施経緯と会誌 への記事掲載について	黒澤 眞爾	141
	普遍的な愛 (CARITAS) を伝える語学教育 —フランス語で旅した 12 年間—	久保 結子	143
	韓国語との出会いと言語学習	駒田 葵	153
	東京都立北園高等学校におけるドイツ語教育 の発展と新たな取り組み	能登 慶和	156
	コロナに負けない高校生の若き取り組み —オンラインを活用したロシアとの交流—	依田 幸子 高橋 瑞生 新井田 衣吹 畑内 千知 村林 芽明	167
書評	『CEFR の理念と現実 理念編 言語政策からの 考察』 西山教行・大木充編	境 一三	176
JACTFL 第 9 回シンポジウム「外国語教育の未来(あす)を拓く」 ～世界とつながる複数外国語教育の展望～ シンポジウム実施要項			 181
	分科会報告 1 オンライン授業の実践について	郷司 雅子	186
	分科会報告 2 多言語・複言語教育について	堀内 貴子	192
	総括コメント: 世界とつながる複数外国語教育の展望	白山 利信	198